

## 決算委員会 会議録

日 時 令和4年9月20日（火曜日） 午前10時18分～午前11時16分  
場 所 白井市庁舎2階 全員協議会室

### 出席委員の氏名

委員長 戸田 映二	副委員長 吉岡 敦	委員 平川 幸司
委員 甲斐 尊	委員 安東 鉄男	委員 芝田 英範
委員 河野 巧	委員 川辺 隆	委員 北田久美子
委員 内藤 康弘	委員 伊藤 淳	委員 広田 精治
委員 奥田富美子	委員 大塚 州章	委員 武生 博明
委員 牧 宣雄		

### オブザーバー

議長 梅田 徳男

### 欠席委員の氏名

(なし)

### 説明のため出席した者の職氏名

代表監査委員 稲垣 則夫	監査委員（議会選出） 北田 郁
水道事業所長兼上下水道工務課長 小長 範幸	上下水道管理課長 斎藤 隆生

### 出席した事務局職員の職氏名

局長 林 昌英 書記 後藤 秀隆 副主幹 高橋 悠樹 主査 大井智香子

### 傍聴者

(なし)

### 会議に付した事件及び審査結果

<審査議案>

番号	件名	審査結果
第47号	令和3年度白井市水道事業会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
第48号	令和3年度白井市下水道事業会計歳入歳出決算の認定について	原案認定

午前10時18分 開議

## ○委員長（戸匹映二）

ただいまから決算委員会を開催いたします。本日は傍聴の申し出があった場合は許可したいと思います。初めに執行部より、概要説明をお願いします。

## ◎水道事業所長（小長範幸）

皆さんおはようございます。水道事業所長の小長です。それでは、令和3年度臼杵市水道事業会計歳入歳出決算の認定並びに、令和3年度臼杵市下水道事業会計歳入歳出決算の認定にあたりまして、概要等を説明いたします。

近年、人口減少や施設の老朽化などにより地方公営企業の経営環境は厳しい状況となっていることから、公営企業法適用拡大や経営戦略の策定等の経営改革が求められており、本市においても取り組みを進めているところです。

このような中、新型コロナウイルス感染症や世界経済等の影響により、水需要の変動、資機材・燃料の高騰や納期の遅延などの動きがあり、令和3年度決算では、水道事業会計、下水道事業会計とともに、給水収益や下水道使用料の大幅な減少と、修繕費や動力費といった施設維持費の増加による厳しい経営状況となりました。なお、経営改革については、経営戦略の改定や収納対策等の経営健全化の取り組みを着実に実施するとともに、県の広域化推進方針策定への参画などを進めております。

以上が概要ですが、今後も、安心・安全でおいしい水の供給や水質環境の保全と雨水対策の推進、そして、経営安定化の両立に努めていきたいと考えております。

なお、詳細につきましては、後ほど課長より説明いたしますので、ご理解、ご承認を賜りますようお願い申し上げます。

## ○委員長（戸匹映二）

執行部による概要説明が終わりました。続きまして、監査委員から審査結果についての報告をお願いいたします。

## ◎代表監査委員（稻垣則夫）

代表監査委員の稻垣でございます。監査委員を代表し、令和3年度　臼杵市公営企業会計　決算審査結果につきまして、ご説明いたします。座って説明させていただきます。

審査の結果、経営成績及び財政状況を表す財務諸表や付属書類等は、地方公営企業法に準拠して作成され、適正に処理されていることを確認いたしました。なお、具体的な数値等については、決算審査意見書で詳しく申し述べておりますので、詳細な説明は省略させていただき、要点についてご説明いたします。

まず、公営企業会計のうち水道事業会計の経営実績として、収益的収支について述べます。消費税抜きの収益的収入の総額は、7億576万円であり、それに対する収益的費用の総額は、7億1,903万円で、差引 1,327万円の不足が生じております。

次に、資本的収支について述べます。消費税込みの資本的収入の総額2億7,202万円に対し、資本的支出の総額は、5億5,157万円で、差引2億7,955万円の不足が生じております。

この不足額に対する補填財源につきましては、過年度分損益勘定留保資金2億5,845万円、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額2,110万円で補填されています。

令和3年度の水道料金の収入状況は、収入済額が約6億6,291万円となっており、収入率は91.35%で、前年度末の90.88%に比べて、0.47ポイント改善しております。

また、令和4年度に繰り越す給水収益未収金につきましては、前年度末と比較して約510万円減少

の6, 253万円であります。今後も未収金等の減少に向け、気を抜くことなく、取り組みの継続を要望するものであります。

水道事業におきましては、今後とも、臼杵市水道事業経営戦略等の中長期的な計画に基づき、適切な事業経営に邁進し、安全、安心で安定した水の供給が継続されるように努めていただきたい。

続きまして、公営企業会計のうち下水道事業会計の経営実績として、収益的収支について述べます。

消費税抜きの収益的収入の総額は、11億9, 512万円で、それに対する収益的費用の総額は、11億7, 106万円で、差引2, 406万円となっております。

この差引額、当年度純利益分2, 406万円について、主な要因は、平成29年災害における終末処理場損害保険金によるものとなっています。

次に、資本的収支について述べます。消費税込みの資本的収入の総額6億9, 302万円に対し、資本的支出の総額は、9億8, 693万円で、差引2億9, 391万円の不足が生じております。

この不足額に対する補填財源につきましては、過年度分損益勘定留保資金1億2, 253万円、当年度分消費税及び地方消費税調整額515万円、当年度分損益勘定留保資金1億6, 623万円で補填されています。

令和3年度の下水道料金の収入状況は、収入済額が約3億2, 616万円となっており、収入率は92. 07%であります。

また、令和4年度に繰り越す未収金につきましては、2, 744万円であります。公平性、平等性の観点から今後も収入率向上に向け、一層の取り組みの継続を要望するものであります。

下水道事業におきましては、浸水防除、公衆衛生の向上など重要な役割があるため、中長期的な計画に基づき、今後も効率的な施設整備を行いながら事業を実施し、安全で快適な下水道サービスを提供されるよう努めていただきたいと思います。

水道事業、下水道事業とともに、適切で計画的な施設整備を行うとともに、より柔軟で効率的な運営に努められるよう、一層の努力を期待しています。

以上で、令和3年度 公営企業会計 決算審査に対する説明を終わります。

#### ○委員長（戸匹映二）

ありがとうございました。以上で、監査委員からの報告が終わりました。

それではこれより、委員会に付託を受けました議案2件について、審査を行います。最初に第47号議案、令和3年度臼杵市水道事業会計歳入歳出予算の認定についてを議題といたします。

執行部の説明を求めます。

#### ◎上下水道管理課長（斎藤隆生）

では私のほうから、決算書に従いまして説明をしたいと思います。座って説明いたします。

決算書の1ページから4ページ、これにつきましては、収益的収支、それから資本的収支の決算額でありますと、詳細につきましては、公営企業でありますので、各財務諸表で説明をしたいと思います。

（「令和3年度臼杵市水道事業決算書」に基づき説明）

#### ○委員長（戸匹映二）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

#### ○委員（河野 巧）

新しく経営指標比較表ですか、新しい比較表ができたということで、現状がわかって分かりやすいなと思いました。どうしても給水人口が減っていきますので、それに対する収入が減るっていうのが分か

りますし、そうした時に、今後になるんですけど、杵築市さんとかは、もう議会で料金アップを承認されました。臼杵市もこういうのを見ると、もうちょっと厳しくなってきているのかなっていうのは、長期でも考えられると思うんですけれども、現状そのあたり、担当課としてどうお考えでしょうか。

また、監査役の方も含めて、どういったご意見か、お聞かせいただければありがたいです。

#### ◎上下水道管理課長（齋藤隆生）

河野委員のご質問にお答えいたします。今回、令和3年度の決算を見ていただきました通り、確かに料金は減っています。これはもう給水人口が、市全体の人口が減っていますので、これは致し方ないというふうに考えていますし、経営戦略の策定時のシミュレーションでも、それは私どもも想定をしております。水道経営の全体像の中で、実はこういった料金だけの減少傾向と経営全体的に考えると、実は過去の施設関係の部分で、起債の償還とか減価償却減少傾向とか、そういうのも含めながらですね、相対的に今後の経営全体の規模とか、そういうものがどうなっていくかという部分を十分注意する必要もあるのかなと。もう料金、収益が減るのは仕方ありませんので、規模に合わせた形の部分が必要になるというふうにも考えております。そういう部分では、経営戦略で、今後のシミュレーションはどうなのかなと見ておりますし、それは言っても、説明の中で言いました、コロナの関係ですか、ウクライナとかいうので、燃料高騰とか、いろんな想定外の要因が、今回の決算でもそれがはつきり言って、赤字の方は結構そういった部分が大きいです。ですが、それは言っても経営戦略でいったシミュレーションをベースとしながら、今後も注視をする必要があると思います。単年にいけば毎年そういう、シミュレーションを、経営の今後の状況をシミュレーションしながら、料金改定っていうのも頭の中に当然、隅におきながら、バランスを見ていくということが十分必要かなと思っています。ただ、収益が減ったからといって、安易に受益者負担を高額に設定するというのも、いけないというふうに思っていますので、先ほど言いました通り、シミュレーションしながら、バランスを見て、今後も検討していきたいと、そういう中で必要であれば料金改定も考えていくという形になろうと思います。

#### ◎代表監査委員（稻垣則夫）

説明を求められましたので、私の知る限りで申し上げます。監査の立場から申し上げますと、現状に上がっている、今、課長が説明した数字以上のものは、申し述べることはございません。これが全てでございます。ただ民間企業と公営団体の企業との比較で見ますと、普通、実態を表す、いわゆるバランスシートとか損益計算書というのは、実態をあらわすことが正しいわけなんです。それには今の地方公営企業会計の中では、その導入はされていません。具体的に申しますと、時価会計っていう制度、それから減損会計、今これだけの資産が100万円で上がっているけれど、実態は80万しかないじゃないかというのは、民間企業では導入されています。しかし、公営企業ではそういう制度、いずれ時価会計制度は、水道会計の中に、企業会計の中に導入される予定であります。いつになるかそれは、詳しくはまた、課長の方から聞いていただきたいと思います。私の知る限りでは、その程度でございます。以上でよろしゅうございますか。

#### ○委員長（戸匹映二）

他にありませんでしょうか。

（「なし」の声）

#### ○委員長（戸匹映二）

以上で質疑を終了いたします。これより、討論に入ります。

（なし）

○委員長（戸匹映二）

以上で討論を終わります。これより採決を行います。第47号議案については、原案の通り認定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声）

○委員長（戸匹映二）

ご異議なしと認めます。よって第47号議案については、原案の通り認定すべきものとして決しました。次に、第48号議案、令和3年度臼杵市下水道事業会計歳入歳出決算の認定についてを議題といたします。執行部の説明を求めます。

◎上下水道管理課長（齋藤隆生）

それでは説明に入りますが、お手元の決算書は、令和2年度より公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業、農業集落排水事業、漁業集落排水事業を一体化し公営企業法を適用した下水道事業会計としての決算書となっておりますのでご了承ください。

（「令和3年度臼杵市下水道事業決算書」に基づき説明）

○委員長（戸匹映二）

以上で説明が終わりました。これより質疑に入れます。質疑は挙手をもってお願ひします。

（「なし」の声）

○委員長（戸匹映二）

以上で質疑を終了いたします。これより討論に入れます。

（なし）

○委員長（戸匹映二）

以上で討論を終わります。これより採決を行います。第48号議案については原案の通り認定することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声）

○委員長（戸匹映二）

ご異議なしと認めます。よって、第48号議案については、原案の通り認定すべきものとして決しました。これで上下水道工務課管理課所管の議案の審査を終わります。ご苦労さまでした。休憩いたします。

午前11時11分 休憩

---

午前11時15分 再開

○委員長（戸匹映二）

再開いたします。それでは以上で本委員会に付託を受けました議案2件の審査を終わります。以上で決算委員会を閉会いたします。

午前11時16分 閉会

---

臼杵市議会委員会条例第30条第1項の規定により、ここに記録を作成する。

令和4年9月20日

臼杵市議会  
決算委員会委員長 戸 四 映 二